



道 標

みち

しるべ

2013/11/20

NO. 74

〈編集・発行〉

東中3年

進路指導部

私の進路選択

今回は、理科担当の若杉先生です。

中学生のとき、自分がどうしても行きたい高校があったわけではなく、進路について真剣に考えていませんでした。親や学校の先生はいろいろアドバイスをくれたり、真剣に指導してくれたりしましたが、それが煩わしいなと思っていました。結局、家から近い公立高校に進学しました。通学は楽でしたが、服装などの生徒指導が厳しく、自由な雰囲気のない高校でした。事前に高校の校則や雰囲気などを調べておく必要があったと後悔しました。

今振り返ると、中学校3年生の後半は、自分の生き方を左右する大切な半年でした。皆さんと同じように自分の周りの子ども3年生の夏休みが終わった頃から、勉強に力を入れるようになりました。自分は勉強が得意だったので、放課や授業後に友達に勉強を教える機会が多くなりました。そんな時期にある友達から「お前に教えてもらうとよくわかる。」と言われました。それ以後、教えることが楽しくなり、教師になりたいと思うようになっていきました。友達からもらった一言と、仲間と共に頑張った受験勉強が自分の人生に大きな影響を与えたことは間違いありません。

皆さん、今の時期、受験勉強はもちろん大切です。でも、人生は人との関わりから学ぶことがたくさんあります。これからは今まで以上に仲間との関わりを大切に、残りの中学校生活を送ってほしいと思います。

《交通遺児育英会のご案内》

裏面に詳細を掲載しました。

締め切りは2月末ですが、申し込み手続き上、希望者は早めに担当の岩下まで申し出てください。

進路担当より

教育相談が終わりました。進路の話が中心だったと思います。この時期に自分の進路の方向性がきまり、次の期末テストに向けての新たな目標が立てられたのなら、すばらしいと思います。

まだ、進路先決定ではないので、悩みがあれば先生たちに相談してください。

《進路の豆知識⑩》

～「ことばによる自己表現」とは～

一体何のことでしょうか。これは公立高校の推薦入試で課される「3分間スピーチ」といった方がわかりやすいかもしれません。

3分間自分のアピールをすることというのは大変なことです。

- 自分の特技
- なぜ、進学したいのか
- なぜ、その学校でないといけないのか
- その学校で何がしたいのか
- 高校を卒業したら、どうしたいのか
- 将来はどんな職業に就きたいのか

などなど

公立高校の推薦を考えていなくても、面接は必ずあります(私立一般受験以外は...)。なので、面接学習が始まるこの時期は、自分を見つめ直す時期としてください。

